

横手市立小学校5・6年生・保護者の皆さんへ

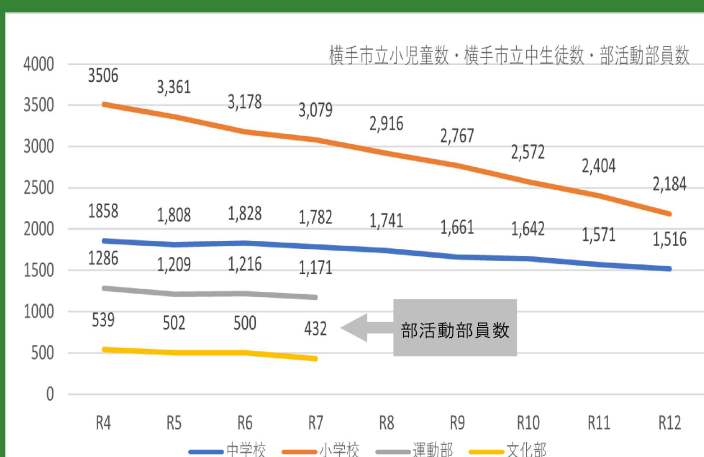


中学校の部活動のしくみが変わります！

「学校単位の部活動から、地域クラブ活動として地域で実施するようになります」



横手市の中学校部活動の現状と課題



- ◆ グラフのように少子化が進み、部活動加入者が減少しています。各中学校の部活動設置数は変わりません。
- ◆ そのため複数の種目で合同チームで活動したり、休部になったりしています。
- ◆ 担当する先生も減少し、専門性のある指導者が不足しており、経験のない種目を担当する場合があります。
- ◆ 部活動の役割を継承しながら、今後もスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を保障するには、学校単位の部活動から、地域全体で連携して支える環境をつくる必要があります。

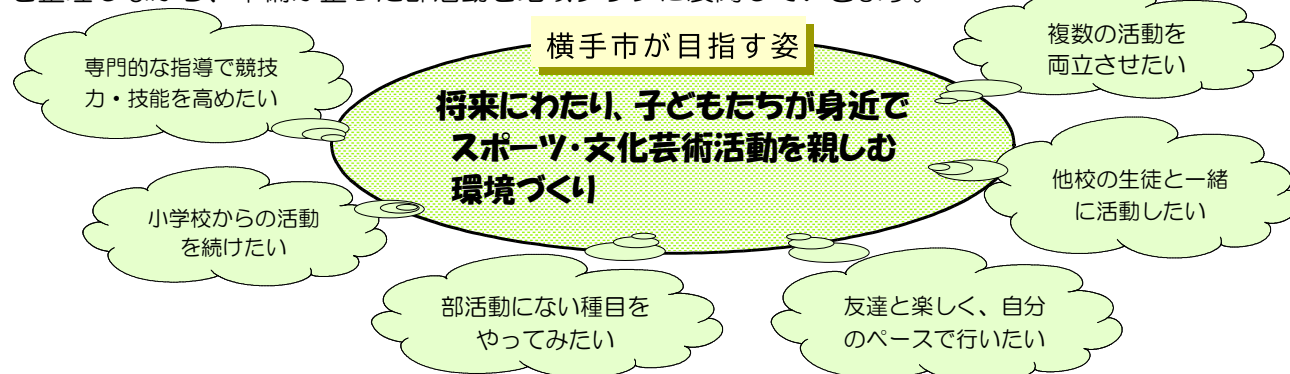


学校部活動の地域展開



「学校部活動の地域展開」は、今後いっそう少子化が進み、これまでの学校単位での部活動を継続することが難しくなることから、部活動を学校の教育活動から地域のスポーツ・文化芸術活動（地域クラブ活動）に展開するための環境整備を進めるものです。

横手市でも、休日の部活動について、可能な種目から地域団体と連携しながら実施したり、学校外の地域団体が主体となる地域クラブ活動へ展開したりしています。今後も、学校や地域の状況・課題を整理しながら、準備が整った部活動を地域クラブに展開していきます。



中学校に入学する前から準備を進めよう

知っておこう、考えてみよう、これからの部活動



さらに詳しい内容については、こちらのWebサイトをご覧ください⇒

横手市教育委員会Webサイト

「部活動地域移行（展開）」について



横手市教育委員会

教育指導部教育指導課

☎0182-35-2123

1 学校部活動や部活動地域展開(地域クラブ活動)についてのQ&A

(1) 中学校の部活動って何？

部活動はスポーツ・文化芸術活動に関心のある生徒が自主的に参加し、仲間と共に自分の力を伸ばしたり、高い技術・記録にチャレンジしたりする中で、楽しさや喜び、達成感を味わい、思いやる心や協力し合う心を育てることができる活動です。学校生活を豊かにする学びの場としても意義は大きく、学校の教育活動の一環として行われています。大きくは、運動部と文化部があり、部活動の種類は学校によって違います。

基本的には、平日の月～金曜日のうち、1日は休み、放課後に1日2時間程度の活動をし、休日は土・日曜日のどちらか1日3時間程度の練習や試合などの活動をしています。部活動顧問の先生や地域の指導者の方が指導し、大会の引率もします。



(2) 部活動に入るといろいろな大会に出るの？



運動部の大会は、大きくは年3回開催される中学校体育連盟主催大会（公式戦）に、学校単位で出場しています。4月は横手市春季大会、6月は中学校総合体育大会（中総体）、9月は横手市秋季大会があります。特に中総体は、大会上位チームは県大会⇒東北大会⇒全国大会に進むことができます。3年生は中総体が終了すると運動部を引退します。その他、スポーツ協会・連盟主催大会や招待大会などにも参加しています。

文化部も活動の内容によって、様々な発表、作品コンクール、コンテストなどに出品したり、参加したりしています。運動部と同様に全国大会・全国審査に通じるものもあります。

(3) 部活動には必ず入部しなければいけない？

部活動は希望する生徒が自主的に参加する活動で、必ず入部しなくてもよいです。入学した中学校に興味のある部活動があったら、加入して仲間と一緒に目標に向かって頑張ってみるのもいいですね。

入部に関わらず、放課後の時間をどのように過ごすかが大切です。自分の将来の夢を叶えるため勉強はもちろん、人間性や社会性、協調性を高めるため部活動に参加したり、地域クラブやスポーツ少年団、ボランティア活動に参加したりと、自分のためにどのように時間を使うか、やりたいことを考え、見つけておくことが大切です。



(4) なぜ、中学校の部活動を地域に展開するのですか？

学校部活動はこれまで教育活動の一環として、体力づくりや協調性・社会性など生徒の心身の成長に大きな役割を果たし、また、学校での学びを深めたり、広げたり有意義な役割を担ってきました。近年、少子化の進行による部員数の減少やそれに伴って顧問を務める先生も減少し、これまでの中学校単位の形で部活動を継続する事が難しくなってきました。そこで、まずは休日の部活動を無くして、地域の人たちでスポーツ・文化芸術活動ができる環境・場所をつくっていきましょう（「休日の部活動地域展開」）と国が呼びかけました。そして、平日の部活動も徐々に学校から切り離して、地域展開していくことになりました。

(5) 横手市では、どのように部活動を地域展開するのですか？

横手市でも、生徒の皆さんが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむことができるように、学校や地域の状況や課題を整理し、準備が整った部活動から休日の活動を地域クラブに展開していきます。平日の地域展開は、休日の実施状況や活動状況を確認し、生徒や保護者のみなさんの思いや願いに配慮しながら、段階的に進めていきます。ある時期から一斉に部活動を地域展開するというのではなく、当面は、平日は学校部活動、休日は地域クラブで活動するイメージです。地域クラブ活動では、部活動以外でもスポーツ・文化芸術活動が選択できる環境をつくっていきます。部活動にないバドミントンは、平日・休日ともに地域クラブとして活動しています。地域クラブに参加するかについては、保護者と相談し、自分で決めることになります。



(6) 休日の部活動が地域展開すると、中体連の大会への参加はどうなるの？

日本中学校体育連盟（中体連）は、令和5年度から地域クラブ単位での大会出場を認めています。秋田県では、地域クラブチームが中体連の大会に出場したい場合は、秋田県中体連に登録申請することになっています。今年度（R7）から、中学校総合体育大会と秋季大会へのクラブチームの参加が可能となりました。部活動と地域クラブの二重選手登録や選手登録申請後の変更は認められません。また申請後のクラブ間どうしの選手の移籍も認められません。選手（生徒）は、学校部活動から出場するのか？地域クラブから出場するのか？参加区分を生徒自身が決定し、「参加区分決定書」を所属中学校の校長先生に提出します。参加区分は「春季⇒中総体⇒秋季大会」を1セットとして（1年間同じ区分で出場することで）大会参加が認められています。



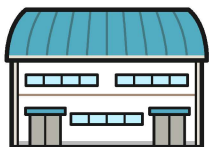
(7) 部活動を地域展開するとどんな課題があるの？

休日に（いずれは平日も）、活動を引き受けてくれる地域団体や教えてくれる地域の指導者、活動場所の確保が一番の課題です。活動場所への移動方法やクラブ活動費・保険料・大会参加費などの経費、そして家庭（保護者）の負担も大きな課題です。さらには、クラブ活動中のケガや事故・トラブル等については、地域クラブと学校、教育委員会が連携して対応していきます。このように、家庭や学校、地域のみんなの理解と協力のもとに、地域クラブ活動を支援していく必要があります。



(8) 今からどんな準備が必要なのか？

地域クラブ活動は、自主的に参加する選手が集まり（学校部活動にない種目もあり）、専門の指導者による質の高い活動が可能となります。また、他校の生徒や小・中・高や大人の多様な世代との豊かな体験・交流ができます。さらには将来にわたるライフワークになったり、指導者としてセカンドキャリアを形成したりすることが期待できます。地域スポーツ・文化芸術を楽しむ輪が広がり、横手市のスポーツ・文化芸術の活性化につながります。勉強を頑張ることはもちろんですが、中学校に入学したら「こんなことを学んでみたい」、「こんなことにチャレンジしたい」、「いろんな人と友だちになりたい」、「将来に生かしたい」など、自分自身で目標を見つけ、自分で決め・実践することが大切です。地域クラブ活動は家庭のサポートも大切ですから、自分の目標や考えを日頃からお家の方に話したり、相談したりするとよいですね。



2 段階的に学校部活動から地域クラブ活動に展開

学校部活動

	月	火	水	木	金	土	日
位置づけ	学校教育活動の一環（運動部・文化部）						
運 営	各 中 学 校						
指 導 者	先生・部活動指導員（顧問）・外部コーチ						
活動場所	校舎・学校施設（体育館・道場・グラウンド・コート）						
活 動	放課後2時間（1日はお休み）					どちらか1日3時間	
費 用	ユニフォーム・用具費など個人負担、部活動費						
支 援 費	PTA・部活動後援会費、生徒会費						
補 助 金	市から大会派遣費の補助・SBの利用、市の施設使用料減額・免除						
保 険	日本スポーツ振興センター災害給付、児童・生徒PTA総合補償						

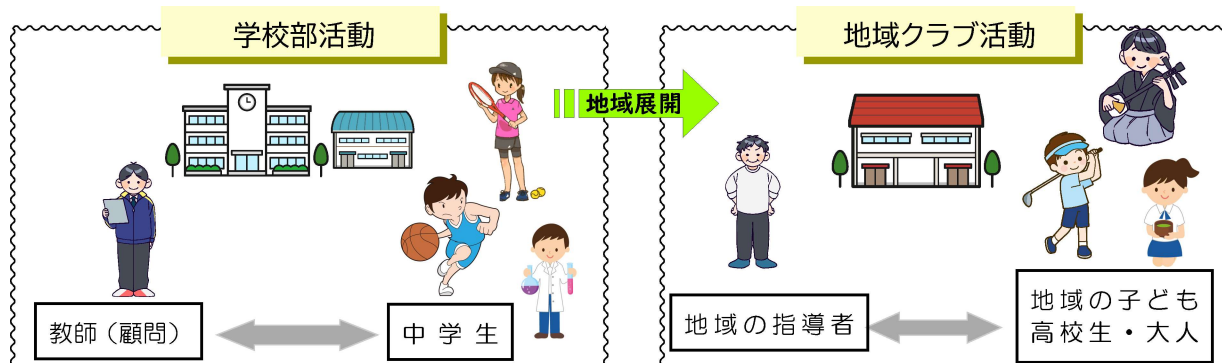


休日の部活動を地域展開

	月	火	水	木	金	土	日
位置づけ	学校教育活動の一環					社会教育活動（スポーツ・文化）	
運営	各中学校					地域クラブ団体	
指導者	先生・部活動指導員（顧問）・外部コーチ					地域クラブの指導者	
活動場所	校舎・学校施設					市公共施設、学校施設	
活動	放課後2時間（1日はお休み）					どちらか1日3時間	
費用	ユニフォーム・用具費など個人負担、部活動費					ユニフォーム・用具費、会費、交通費	
支援費	PTA・部活動後援会費、生徒会費						
補助金	市から大会派遣費の補助・SBの利用、市の施設使用料減免					市の施設使用料減額・免除	
保険	日本スポーツ振興センター災害給付制度 児童・生徒PTA総合補償制度に学校で加入					各種保険に団体・個人で加入	

全面部活動地域展開

	月	火	水	木	金	土	日
位置づけ	社会教育活動（ｽﾎﾟｰﾂ・文化芸術）						
運 営	地域クラブ団体						
指 導 者	地域クラブの指導者（兼職兼業の許可を得た教員も含む）						
活動場所	市公共施設、学校施設						
活 動	放課後２時間（１日はお休み）					どちらか１日３時間	
費 用	ユニフォーム・用具費など個人負担、会費、交通費						
支 援 費							
補 助 金	市認定クラブは大会派遣費の補助・SBの利用、市の施設使用料減額・免除						
保 険	各種保険に団体または個人で加入						



※部活動も地域クラブ活動も任意加入です。複数の地域クラブに加入することも可能です。

休日の運動部活動の地域展開

3つの種目で、休日の部活動を地域団体に展開し活動しています

部活動	学校名	横手南		横手北		平 鹿		増 田		十文字		横手明峰	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
軟式野球	平日	○		○		○		○		○		○	
	休日							十文字中と合同チーム		増田中と合同チーム			
バスケット	平日	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
	休日												
バレーボール	平日	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	休日	YVAクラブU15 10～3月 土曜日：横手市バレーボール協会											
卓 球	平日	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
	休日												
ソフトテニス	平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	休日												
柔 道	平日	○	○	○	○							○	○
	休日												
剣 道	平日	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
	休日	「稽古会」 6～11月 土曜日：横手市剣道連盟											
陸上競技	平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	休日	ジュニアハイ陸上競技教室 11～3月 土曜日：横手市陸上競技協会											
ハンドボール	平日			○									
	休日												
水 泳		希望者に応じて、開設している											
スキー		希望者に応じて、開設している											

○：部活動を開設している、募集している

■：開設していない、募集していない

認定地域クラブ

バドミントンJr	平日	横手市認定地域クラブとして平日・休日ともに、 男女一緒に活動している
	休日	

休日の運動部活動の地域展開

クラブ名	中学生稽古会	ジュニアハイ陸上競技教室	YVAクラブU15
地域団体	横手市剣道連盟	横手市陸上競技協会	横手市バレーボール協会
活動種目	剣 道	陸上競技	バレーボール
参加対象	市内中学校1～3年生	中学校1～3年生	R7年度中学校1～2年生
定 員	な し	100名	男女各80名
活動場所	横手・大森体育館 横手武道館	十文字陸上競技場 増田・平鹿中体育館	各中学校体育館
活動日時	6月～11月 土曜日 9時～12時 計5回	10月～3月 土曜日 13時～15時半 計12回	10月～3月 土曜日 8時半～11時半 計6回
会 費	参加費1,000円(保険料含)	参加費3,000円(保険料含)	無 料
紹介PR	合同稽古を通して意欲や技術の向上、コミュニケーションの向上を目指しています。経験年数や目標に応じて活動内容を工夫し、昇段審査の講習も実施しています。	オフシーズンの体力づくりや基礎トレーニングを中心に実施します。地区ごとや種目別に分かれて活動の充実に努めます。「自ら学び、考える力 工夫する力」を伸ばすことをねらいとしています。	地域の仲間と大人と共にバレーボールを楽しむことができるようクラブU15を開設しました。男女各々東部・南部・西部の3地区での練習を基本とし、合同練習や試合なども計画しています。
リンク		https://9nqfxwyp2o0n.blog.fc2.com	

認定地域クラブ

クラブ名	バドミントンジュニア
地域団体	バドミントンスポーツ少年団
活動種目	バドミントン
参加対象	小学校1年生～中学校3年生
定 員	30名(要相談)
活動場所	横手北中体育館
活動日時	火～金曜日 19時～21時 日曜日 9時～12時
会 費	入会費なし、月会費5,000円
紹介PR	今年度、中学生28名が小学生と一緒に活動しています。各々の目標に向かって練習に励んでいます。将来にわたりバドミントンを楽しむことができるような活動を目指しています。

演劇ワークショップ

演劇ワークショップ
劇団「かんじき」
発声・台本読み・演技・舞台演出体験
中学校1年生～3年生
20名程度
朝倉地区交流センター「あさくら館」
7月～8月 14時～17時 計5回
参加費無料、保険料実費(50円×参加回数)
地域クラブのモデル事業として、夏休みに演劇ワークショップを計画しました。演劇を通して、舞台に立つことの素晴らしさを体験してみませんか。 ※募集は終了しています。